

KT師重賞本命と見解

阪神カップ

今年の秋冬(10月以降)の阪神芝 1400m は
中距離 G1 で実績を残す種牡馬の産駒が特に走っています。

なかでも芝中距離で世界最高レベルの直線スピードを発揮する
ディープインパクトを父系に持つ馬が優秀。

重賞レースもスワン S では
ディープ産駒のダノンファンタジー、サウンドキアラが 1、2 着。

そしてファンタジー S もディープインパクトを父系に持つ
ウォーターナビレラ、ナムラクレアが 1、2 着。

また、19 年、20 年と当レースは距離短縮馬が 1-3 着を独占。

本命はラウダシオン。

父はディープ系のリアルインパクト。

同馬は阪神カップを 2 勝。

古馬になって JRA のレースで勝ったのは同レースのみ。

最適コース。近親にスナッチマインド。芝 1400m を 4 勝。

1400m 重賞でも 3 着。父、牝系ともに 1400m が最適距離。

距離短縮の出走も上積みが見込めます。